

看護小規模多機能型居宅介護
ケアホーム希望

希望
のぞみ



ニュース

Vol.60 平成30年9月号

(株)つつじヶ丘在宅総合センター
〒182-0006
調布市西つつじヶ丘2-19-6
第三コーポ横田 1F

☎ 03-5315-5722



老老介護・認認介護 … はたして誰がキーパーソン？

Yさん、88歳は86歳の妻との2人暮らし。

子どもには恵まれず、老老介護であるが、施設には入りたくない。夫婦一緒に住み慣れた自宅で暮らしていきたいと…。

Yさんは、この夏に誤嚥性肺炎で、某大学病院に救急搬送され、その後 民間病院へと転院となった。転院先の病院から、退院後は『ケアホーム希望』で対応してもらえないかと、相談があり、病院へ面会に行くと、Yさんは 以前に右大腿骨頸部骨折の手術をしていたため、歩行もままならず、ベッドからやっと起き上がれる状態であった。妻は毎日 1本杖をつきタクシーで夫の面会に来ている。

Yさん夫婦は「早く家に帰りたい」を くり返す。

自宅は団地の3階で、階段を昇れるような状態ではなく 困った相談員と私は、夫婦二人で自宅での生活が本当にできるのか、本人たちが自覚しないと話が進まないと思い、試験外泊を許可してもらい、自宅に帰ることにした。

介護タクシーで団地の3階にある自宅に介助で連れて行ってもらう、自宅に帰るが部屋は散らかっており、足の踏み場もない。介護ベットを入れる隙間もない。

妻にも持病があり、要支援で自分のことだけで精一杯である。

掃除、洗濯、買い物がままならなくても、夫婦は他人の世話になるべくなりたくないと言い、自宅で生活すること強く望んでいる。

「お金があるのなら夫婦一緒に有料の老人ホームにでも入れればいい」と他人は簡単に言うが、誰が Yさん夫婦の世話を全てしてくれるのか？身寄り兄弟がいるが、高齢でもう何年も会っていない。夫婦ともに認知症があり、退院までには生活環境を整える必要がある。

掃除を手伝いに行ってみると、汚れた下着がそのまま置いてあり、部屋中に尿臭もする。

妻は毎日夫の面会に行くため、帰宅すると疲れて何もせぬまま居間に横になって眠ってしまう。

歩行困難な夫が退院しても、ほぼ全介助の夫を妻がはたして介護できるだろうか？

退院調整を行い「訪問介護」で生活支援し、週に2回「通い」のサービスを利用して入浴リハビリを行う。

「訪問診療」に「訪問看護」で体調管理を行いたいが、はたしてサービスの調整、導入ができるのだろうか？





なんで?

ほらっ 今日のお昼は ご馳走よ!

あらっ! この天ぷら 美味しいわね~

おれは 茶碗蒸しが 好きなんだよ



東京 オリンピック に 出るぞ!

まだまだ 元気に頑張るぞ~!

敬老会



お富さん わたし達と一緒に 踊りましょう~

わたし達 ステキなバッグ もらったわね

今年は「紅白饅頭」と笑顔写真をプリントした オリジナル バッグを作り プレゼント しました!